

鎮西学院だより「シャロン」

2015. Vol.1

# Sharon

2015年度 鎮西学院聖句

「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、  
練達は希望を生むということを知る」

ローマの信徒への手紙 5章 3節-4節

# 学院に新しい風を

100年後も、200年後も、  
正義感、思いやり、愛、責任感を  
育むキリスト教の人間教育を

## Profile

昭和42年明治学院大学経済学部卒業。昭和44年明治学院大学大学院経済学研究科修士課程修了 経済学修士(明治学院大学大学院)。平成8年人間関係学名誉博士(フィリピン・バキオ大学大学院)。平成5年～10年長崎県農業会議委員。平成8年～9年郵政省郵政審議会委員(郵政省)。平成17年12月～18年12月長崎県教育委員会委員長。平成24年4月～「がんばらんば長崎」審査・支援委員会会長(長崎県)。「長崎県の財政と経済」(昭和60年・共著・長崎県地方自治研究センター)。「新長崎市」(平成23年・共著・長崎市)。著書、論文、創作多数。

被爆70周年の今年。各方面で、  
平和の大切さが広く訴えられています。  
そうしたなか、2015(平成27)年4月1日付で、  
鎮西学院第26代院長に就任した森泰一郎学院長。  
学院の新たなはじまりにあたり、  
今の思いを語っていただきました。



2009(平成21)年建立、  
原爆死没者の名前が刻まれた慰霊碑。



## 人間を育てる学院として 134年の歴史を重ねて

創立134周年になる鎮西学院は、建学の精神を受け継ぎ、揺るぎない歴史を築いてきました。また、キリスト教教育に基づく人間形成への考えは、長い年月とともに大切に培われてきました。「鎮西学院の特徴は、人間を育てる学校であるということとです。ミッションスクールとして、正義感、思いやり、愛、責任感、この4つの徳目を持つ人間を育てていきたいと考えています」。被爆70周年にあたり、被爆校として、平和についてあらためて考え、伝えていく使命があるという鎮西学院。戦後、被爆という悲しい体験を乗り越え、現在地で新たな一歩を踏み出したのでした。「長崎では、鎮西学院は活水学院に次いで古く、多くの人を生み出してきました。現在の長崎市東山手で創立、次に移転した竹の久保で被爆。教師と生徒、140名以上が亡くなり、現在も多くのOBの方々が原爆症で苦しんでいます。原爆や平和については、被爆校である鎮西学院にしか伝えられないことがあると思っています。戦後の復興は、この場所です、働きながら学ぶという新しい教育方法『労作教育』、鎮西学院第18代院長であった千葉胤雄先生が考案した『千葉プラン』によって進められてきたの

です。牛や豚を飼い、お茶を摘み、諫早市内に牛乳やバターを提供し、海外にお茶を運んだ『千葉プラン』は、戦後の鎮西学院の原点となりました。昨年末、尊敬する千葉先生の伝記『この道にたえなる灯を』鎮西学院第十八代院長 千葉胤雄の生涯』を発売できたことは、学院にとっても、私自身にとっても、とても喜ばしいことです。昭和40年代以降は、さらに視野を広め、国際化

教育に力を入れてきました。現在も、中国

やタイ、アメリカ、カナダなどの大学に多くの学生が留学。そこには、平和への思いが託されています。「国際交流」というのは、平和ということとです。民間、あるいはミッションスクールが、積極的に国際交流

をすれば戦争は起きません。いわば、国民側、民間サイドの安保というのが、国際交流なんです。うちは平和の学校ですから、当然、国際交流は出てくるわけです。学生たちは、世界を知ること、自分、他者を理解できるようになり、見方が変わってきます。それが、平和へとつながっていくのです」。

## 幼い頃からすごした母校へ 地域へ愛を注ぎ続けて

一貫して平和の大切さと向き合う学院院长は、鎮西学院のOBでもあります。「僕は父がこの教師でしたから、幼い頃からこのキャンパスで育ち、中学、高校は、鎮西学院で学びました。高校時代には、登山の長崎県代表として国体にも



高校生の頃。登山部で国体出場しました。

出場。中学校の時に千々石中学校で二週間キャンプをする合宿があつて、その時に雲仙に登って、お風呂に入つてお弁当を食べるのが楽しくて、それから山登りがおもしろいと思うようになりました。中国への関心を抱くようになったのも高校時代

で、日本向けの北京放送に夢中になりました。中国から見た日本。こういう見方もあるのかと、非常に興味を持ちました」。

東京の大学、大学院を卒業後に、短大の助手として鎮西学院で教鞭を取り、郷土への愛、母校への愛を注ぐことに。「大学では、社会主義経済の勉強もしました。僕は地域経済が専門ですから、主

に地域の開発、五島や対馬などの離島の開発を40年ぐらい手掛けてきました」。

## キリスト教教育の本質を 明日へと伝えるために

誰よりも鎮西学院との関わりが深い学院院长が誕生。さらに唯一無二の素晴らしい学院へと向かっています。「これから、少子化が進んでいく中で、この学院が生き残っていくにはどうすればいいかを考えるのが私たちの仕事です。この先、時代によって、どういう学科が、どういう教員が求められるのかは、わかりません。ただ、正義感、思いやり、愛、責任感の4つの徳目を持つ人間を育てるというスタンス、鎮西学院が今日まで培ってきた人間教育の姿勢は変わりません。未来永劫、キリスト教教育は変わりません」。人、郷土、自然、学院、すべてを大きな愛で見つめる森学院院长。伝統に新しい風を吹き込んで、人間教育の希望あふれる未来への航海がはじまりました。



「この道にたえなる灯を  
～鎮西学院第十八代院長  
千葉胤雄の生涯」

# 先輩、こんにちは！

「すべての原動力は、  
ふるさとを愛する思いです」。

米づくり農家 湯江地区環境保全の会代表  
佐藤 均蔵(さとう ひとし)さん

## Profile

1963年 鎮西学院高等学校卒(新高15回)  
農家の跡継ぎとして生まれ、米づくりに携わること半世紀以上。環境問題に取り組み、完全無農薬米を手掛ける。おいしさや米づくりに対する姿勢が支持され、今年から運行のJR九州のスイーツ列車「或る列車」で出されるメニューに米が使われることに。

## 郷土愛に突き動かされて

「高校時代は、友達がいっぱいて、とにかくよく遊んでいました。高校3年の時には、野球部の九州大会の代表決定戦があるというので、急遽応援団を作って、私は応援団長をしたんですよ。当時の友達とのつながりは、今でも強いですね」。高校の頃から抜群のリーダーシップの持ち主だった佐藤さん。中学時代は野球に、高校時代は空手と陸上に打ち込み、卒業後は社会人野球の監督として手腕を振るつたそうです。「念願の社会人野球があって、広い体育館の掲示板に大きく『長崎県北高来郡高来町』と書かれているのを見て、ジーンときたんですよ。おそらく、そこからですね、郷土愛というものを感じるようになったのは。負けられないと強く思いました」。佐藤さんは、ふるさとを思う自分自身をあらためて実感したといいます。その後、行動力もフロンティア精神も旺盛な佐藤さんは、積極的に活動をはじめたことに。

## 次の世代に美しい環境を

佐藤さんの地元、長崎県諫早市高来町は、環境庁選定「名水百選」や林野庁

選定「水源の森百選」に選ばれるほど、

水が美しく豊かなところ。「水を守らないといけないと思ったんですよ。自分も昔は農薬をほとんど使っていたので、水を汚してきたという反省の気持ちもあつて。農業水を使わせてらつているから、お世話になつているから地域に恩返し、貢献しないとだめだと思ってですね」。無農薬で米づくりするようになって13年。湯江地区環境保全の会の代表として、地域一帯を「しじみの郷」と名付けて、農地、水、環境の保全や農薬の軽減に取り組んでいます。地域ぐるみの活動としては、水質浄化能力の高いしじみを水路や排水路に放流して、農業用水や干拓調整池を浄化。数年前からは、湯江小学校の子どもたちもいっしょに行っています。「水や土地を汚さないようにすれば、子供たちの時代まで美しい環境を保つことができます。子供たちには、水や土地を守らないといけないと感じられるような教え方がいいと思いますね」。湯江小学校で米づくりを指導するようになって10年。子供たちは、毎日の掃除で落ち葉を集めて、ごみを分別して、腐葉土を肥料に米づくりをしています。そして、収穫、餅つき、地元の伝統的な竹筒炊飯までを行い、食育へと導いています。他



環境保護への思いを語る佐藤さん。



苗を強くしてくれる苗踏み。



JR九州「或る列車」のパンフレット。



水質を確認する佐藤さん。

にも、高来西小学校や北諫早小学校で  
出前講座を実施。「いちばんの望みは、子  
供たちに自分たちの地域を誇りに思っ  
てもらいたいということです」。農業で生計  
を立てていくのは、依然としてなかなか  
厳しい状況にあります。「自然豊かな環  
境のきれいな水で米づくりをして、消費  
者の皆さんに安心して食べていただきた  
いと思います」。環境を守ることは、地域  
の安定、存続にもつながると、佐藤さんは  
教えてくれます。

### 米の素晴らしさを伝えて

昨年秋、佐藤さんのもとにうれしい  
話が舞い込みました。それは、今年の夏  
から運行する、JR九州のクルーズトレ  
イン「なつ屋 in 九州」に次ぐ、ラグジュ  
アリーなトレイン「或る列車」で佐藤さん  
の米を使いたいというリクエスト。料理を  
プロデュースするのは、東京・南青山のレス  
トラン「NARISAWA」のオーナーシェフ  
で、自然環境をテーマにした食を作り続  
ける成澤由浩氏という願ってもない話で  
す。「私の米というよりも、活動や地域の  
環境の良さが評価されたのだと思いま  
す。できる限り要望に応えて、今後も続  
けていきたいです。そして、また、いろい  
ろとお話をいただけるように頑張りたいと

思っています。こういうことは、地域のは  
げみになりますからね」。さらには、米の  
生産農家として、玄米食を日本中に届  
けたい、米を使って食生活の改善を提案  
していきたいという希望もあるという佐  
藤さん。前向きに自ら道を切り拓いてい  
く、新たな挑戦は続いていきます。



「しじみの郷」の活動を伝える看板。



水をきれいにしてくれる、しじみ。

鎮西学院の頑張りは、  
生徒、学生、卒業生、教師、  
誰にとってもうれしいもの  
です。鎮西学院の生徒や  
学生の活躍ぶりにスポット  
をあててご紹介します。

## 鎮西学院高等学校 バレーボール部(男子) 梅本 鈴太郎さん(2年生)

鎮西学院高等学校 男子バレー部 主な実績

2007年3月 春高バレー全国大会出場(埼玉県スーパーアリーナ)ベスト8進出

2012年4月 全国私学大会バレー(東京都)3位入賞

6月 全九州高等学校体育大会バレー(福岡県)3位入賞

8月 九州私学大会バレー(福岡県)準優勝

2015年3月 全国私学大会(東京都)3位入賞

5月 全九州バレー総合選手権(福岡県)3位入賞

性格の良さは監督のお墨付き、笑顔が似合います

### 監督に聞いてみました。

彼は、明るく素直な性格なので、まわりから可愛がられますよね。あとは、意地を持つことや心を強くすることが必要だと思いますが、将来がとても楽しみな選手です。バレーのおもしろみは、メンバーの気持ちが結集して強いチームになっていく、心のつながりがボールにつながっていくチームプレーにあると思います。チームの中で、彼は、ウイングスパイカーとしての役割を果たし、バックアタックを得意としています。今後、大学に進んで、Vリーグに入って活躍する可能性も、2020年の東京オリンピックの代表選手に選ばれる可能性も充分にあります。頑張ってもらいたいですね。



鎮西学院高等学校で保健体育を教え、  
学年主任も務める戸田監督

【戸田淳一監督プロフィール】

1987年鎮西学院高等学校卒。1991年福岡大学卒。

鎮西学院高等学校専任教諭。

男子バレーボール部監督。

## めきめきと頭角を現して

部員34人の大所帯。鎮西学院高等学校のOBでもある戸田淳二監督率いる男子バレーボール部は、高総体や春高バレーの県大会で常に上位に名を連ねる強豪チームです。アスリートらしくきびきびとした態度がとてさわやかな彼らの中で、ひとときわ目を引く長身のメンバーがいます。それが、梅本鈴太郎さんです。

雲仙市吾妻町出身で、バレーをはじめたのは小学2年の時。近所の先輩に誘われたのがきっかけで、ボールに触って遊べる、楽しそうだなという軽い気持ちでのスタートだったとか。ところが、徐々にバレーのおもしろみを実感できるようになっていって、小学校では仲間とともに九州大会2位という快挙を達成。その頃からすでに頭角を現ははじめていました。

恵まれた体とバレーセンスの良さが認められ、中学2年で県選抜入り、2、3年と2年連続でJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学大会に出場。3年で最優秀選手賞に当たるJOC JVAカップを受賞し、オリンピック有望選手に選ばれました。

## 自ら選んだ鎮西学院高等学校

中学3年で身長190cmを超え、全日本中学選抜のメンバーとして国際試合に

出場。身長2m以上の外国人選手とはじめて戦うことに。「韓国のチームと試合をしたのですが、韓国の人は大きくて、ダイナミックなプレーをしてて圧倒されました。自分は身長が高くて大きいと思っていたので、かなりショックを受けました」。はじめて世界の壁を知ると同時に、熱く燃える闘志が沸いてきて、さらに上をめざそうと思ったそうです。

そして、高校進学。他校からも誘いはありましたが、自らの意思で鎮西学院高等学校を選びました。「鎮西学院高等学校には、中学の時から練習を見てもらったりしてお世話になっていたし、好きなチームだったので、ぜひ入学したいと思っていました」。鎮西学院高等学校のバレーボール部には、他とは違う魅力があるのだとか。「絶対負けたくないというプライド、意気込み、強い意思。精神面も鍛えられています。人間教育を重んじるミッションスクールの教えが、バレーボールにも役立っていると思います」。



試合形式での練習。  
ブロック3枚の上をボールが  
通過していく

## 本気でめざす頂点への道

将来有望なトップレベルのユース（若者）で結成されるチーム、全日本ユースの選考合宿に参加するなど、多くの期待が寄せられている梅本さん。現在、最大の目標に掲げているのは、チーム丸となって、今年の11月から予選がはじまる春の高校バレーで長崎県代表となり、全国大会で強豪校と戦い優勝を手にすること。そして、その先の高総体で優勝して、長崎県代表として九州大会、全国大会へ行

くことだそうです。「戸田先生は、生活態度などもしっかり指導してくださる、やさしくて頼れる先生。絶対に勝って、戸田先生を胴上げしたいです」。

高校での全国制覇、5年後のオリンピック出場、メダル獲得に向かってまっしぐら。「今後、バレーボールを続けていくからには、頂点をめざしたい」と、きらきらと輝く目がとても印象的でした。

ネットの前で全員集合



ポジションは、高く上がった球を  
サイドから打つウイングスパイカー



# 鎮西学院幼稚園



緑豊かな「学院内遠足」

本園の最新情報をHPに掲載しています。

鎮西学院幼稚園

検索



1日の始まりはお祈りから



敷地内の芋畑で「苗植え」

ようちえん



園庭のプールで「ワイワイ！」



園長 西村 暢彦

「保育の原点」が

ここにありません。

幼稚園は、学校教育法で『学校』として規定されています。その「目的」では、幼児期における教育は「幼児の自発的な『遊び』の活動を通しての指導を中心とする」ことが示されています。さらに、その活動には、①健康②人間関係③環境④言葉⑤表現の5つの分野のねらいが定められています。

鎮西学院幼稚園は、これらのねらいを3つの「保育のころ」のフィルターを通して具現化しています。ここに本園の特徴があります。

## 〈3つの保育のころ〉

- ①キリスト教の教えの中で、人を思いやり愛ある心を育てる
- ②自然に恵まれた環境の中で、のびのびと遊ぶ
- ③家庭的な温かい雰囲気の中で、園児のありのままを受け入れ、ゆつくりと大切に見守る

毎朝「感謝」と「思いやり」の祈りで始まり、学院を包む広大で緑豊かな自然の中で感性や創造性を育み、全ての園児を全ての教職員で温かく見守り育む。

これが、鎮西学院幼稚園の「保育の原点」なのです。  
(本園のHPには最新情報を掲載しています。)

〈60周年記念行事〉



「アンサンブルネット」コンサート



名誉院長挨拶



園長挨拶



## 出会いに感謝して 主任 原田 裕子

今年度も新たな出会いが与えられ、たくさんのお新入園児をお迎えすることができました。

入園式の日。毎年、期待と不安でいっぱいな様子の可愛い新入園児と保護者の方々の前



2015年度教職員

に、お子様をお預かりする責任を感じると共に、卒園時にはこの幼稚園でよかったと思っただけのような保育をしていこうと、決意をあらたにします。

新入園児のおばあちゃんやママが入園するお孫さんと一緒に来られ「私も卒園生なんですよ。」と言われました。そこで来賓として出席して下さった当時の担任の先生のもとにご案内すると、お二人は抱き合って喜びとても懐かしがっておられました。聞くと、息子さん(新入園児のお父様)も卒園生ということでした。親子3代に渡り、この幼稚園に入園して下さったというわけです。

幼稚園は今年創立60周年を迎えます。この記念すべき年の入園式の日、このような有難い出会いがあり、何とも言えない喜びでした。

60周年を迎えるにあたって、園では記念行事なども計画しており、これまでの神さまのお守りと支え続けて下さった多くの方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。鎮西学院幼稚園の歩みの中で、私自身、子ども達と共に過ごさせていただけることに感謝し、一日一日を大切に過ごしていこうと思えます。

## 親子で楽しむ幼稚園生活

ひかりの会長 橋本 知里



春の桜、初夏の梅の美、秋に舞うイチヨウの葉ドングリの実、芝生に光る朝の露。

鎮西学院幼稚園の子どもたちは、園に通いながらにして四季を感じられる幸せにあります。

見て、嗅いで、味わって、聞いて、触れて…五感すべてが刺激され豊かな実体験を通して、たくましくのびのびと育てていただいています。

また園の行事内容も「親子で楽しむ芋苗さし」や「親子で楽しむ夏の夕べ」など、親子

が一緒に楽しく始める機会を多く企画して下さっています。

親子で土に触れたり、親子で夏の夕暮れを迎え、友と一緒にキャンプファイヤーの夜を楽しむ。他園に類を見ない、鎮西学院ならではの過ごし方だと思います。

恵まれた環境あつてこそ豊かな経験が、子どもたちにとって素晴らしい宝になることだと思います。保護者として園での子どもたちの成長にたずさわっていく中で親子ひとりひとりの個性が輝き、生かされるように、また、園児と同じように幼稚園に行くのが楽しみでイキイキと活動できるように、ひかりの会役員として和やかな雰囲気づくりに尽力していきたいと思っております。

## 創立六十周年に誓う「不易」こそ大切に

鎮西学院幼稚園は、60年前の1955年(昭和30年)に創立され、この6月20日に「創立60周年記念礼拝・コンサート」を開きました。

これまでの卒園生の数は2,662名にのぼります。この規模の幼稚園としては大きな数字で、本園が愛され続けていることが伝わってきます。

緑豊かで小鳥も遊ぶ園庭には、今も変わらず、園児たちの笑顔と明るい声が溢れています。

「私の子どもも鎮西学院幼稚園なんですよ」と、いろんな機会に語りかけられます。お話を伺っていると、ご両親の幼稚園への愛情や思い入れが、卒園生にも増しておありなのだと感じます。

### △幼児教育の2つの不易▽

60年前と現代では、園児を取り巻く環境は当然ながら大きく違います。しかし、どんなに時代や環境が変わろうと、幼児教育で決して変わらないこと、変えてはいけないこと…『不易』があります。

それは、次の2つです。

○ 幼児の学びは、主体的、自発的な遊びの中にある。

○ 子どもは同世代の子どもとの関わりの中で成長する。

この2つを幼児教育の基盤に据え、われわれは意図的、計画的に遊びを組み立てています。人、もの、生き物、自然、文化という5つの大切なことがらに、バランスよく出会わせ、様々な体験としての

遊びを通して、育むのです。

これが、幼児教育の不易です。

近年、英語指導などを重視する傾向が見られますが、それは家庭で習い事として判断されるべきものでしょう。本園では、そのような流行(それぞれの時代により、必要と考えられるもの)に惑わされず、不易の部分こそ大切にしたいです。

### △鎮西学院幼稚園の3つの不易▽

…『保育のこころ』

○ キリスト教の精神に基づき「感謝」と「思いやり」の心を育む。

○ 学院の自然豊かで広々とした環境を生かし、子どもたちをのびのびと育てる。

○ 園児のありのままを受け入れ、全園児を全教職員で見守り、育む。

これら鎮西学院幼稚園の変わらぬ『保育のこころ』を理念として、流行に振り回されることなく、幼児教育の不易をしっかりと実践していきます。

みな様に愛されてきたこの幼稚園をますます充実した園にすべく、昨年度より教職員は研修テーマを決めて学んだり、全ての行事や保育内容を見つめ直す話し合いを繰り返してまいります。

可愛い園児のため、みな様と共に手を携えて、よりよい幼稚園の歴史を築き上げていければと思います。どうか、これまでに増してあたたかくお見守りください。



## ひかり組

(年少児)

担任／宮本あゆみ

ひかり組は一人ひとりが個性豊かで、体操が大好きな明るく元気なクラスです。

年少児は初めて幼稚園という社会に出て、自分とは違う友だちや保育者に出会います。入園当初は母親と離れる際に泣いたり、慣れない環境に不安そうにしている子どもいましたが、どの子ども自分のペースで少しずつ乗り越えていき、好きな遊びや居場所を見つけて毎日元気に遊んでいます。

時にはおもちゃの取り合い等でけんかをする事もありますが、「仲間に入れて」や「貸して」などの遊びに必要な言葉を覚え、少しずつ関わりを持って遊べるようになりました。そして、最近ではお休みにしている子の心配をしたり、泣いている子の頭を撫でたりして、周りにも目を向けられるようになりました。優しく思いやりのある気持ち芽生えている子ども達の成長を嬉しく思っています。

これからも毎日の園生活や行事等を通して、小さな心と体を沢山動かして、色々な経験をしてほしいと思います。

「神さまや周りの人からの沢山の愛情の中で、一人ひとりがピカピカ光るひかり」のように輝く1年でありたいと思います。



## ほし組

(年少児)

担任／荒木 智子

「仲間に入れて」「いいよ」友達と仲良くなれる合言葉が、部屋のあちらこちらから聞こえてきます。4月からスタートした年少児ほし組です。

入園当初は自分のことで精いっぱいだった子ども達も園生活に慣れ、友達存在に気づき、友達と関わる楽しさを味わいながら、毎日嬉しそうに過ごしています。

先日、初めてほし組のみんなで学院内を散歩した時のこと。大人には当たり前前と並んで歩くという行為も、小さな子どもたちには生まれて初めての経験で、それぞれがバラバラに散らばりながらも、ただ友達と手を繋ぐだけで嬉しくて「ニコニコ楽しそうな表情がとても愛らしく、ほほえましい光景でした。

また、泣いている友達を自分のティッシュで拭いてあげたり、大丈夫？と声をかける優しい姿も見られます。

友達がいるから優しくなれる、そして強くなれる。友達存在は、子ども達にとってどんなに大きいものがわかります。

これから幼稚園で、大好きな友達と様々な経験をし、心も体も強くたくましく成長して欲しいと願います。

神さま、この1年間、ほし組の子ども達が健やかに、のびのびと大きくなるよう、どうぞお守りください。



ク

ラ



## にじ組

(年中児)

担任／林田 典子

いよいよ4月から、にじ組としての園生活が始まった子ども達。ピンクの帽子にピンクの名札。新しい部屋に新しい個人マーク。全ての事にワクワクしている事が表情から伺えます。そして、1つ上に進級した事で、自分より年下の友だちがいる事にも気づき、少しずつお兄さん・お姉さんとしての自覚が芽生えてきているようです。そんな子ども達の姿を見ると、小さな成長に担任としても嬉しくなっています。

まだまだ自分の事で精一杯な時もありますが、毎日の小さな積み重ねが、1年後には、大きな成長を見せてくれる事でしょう。

今年のにじ組のクラス目標は「みんなで一緒に1日1歩」

一人ひとりが1日1歩でなくても、クラス全体として1日1歩進んだ時、きっと大きな1歩になり、子ども達の大きな自信に繋がっていくのではないかとおもいます。

クラス全員でいろいろな事に挑戦したり、たくさんのお友だちとの絆を深めていきながら、この1年で「にじ組」を作り上げていきたいと思っています。まだまだ、2・3学期と楽しい行事も待っています。心と体を思いきり動かしながら、笑顔いっぱい毎日を過ごしていきたいと思えます。



## そら組

(年長児)

担任／江頭 弘美

みなさんこんにちは！年長クラスそら組です。そら組は男児19名、女児16名計35名でスタートしました。子ども達はとても素直で、みんな仲が良く、何をすることも一生懸命といった様子で毎日過ごしています。

5月から子ども達がよくしている遊びで「けいどろろ」という遊びがあります。この遊びは警察（鬼）になった子が泥棒を捕まえるという遊びです。走って遊ぶことが大好きな子ども達はどんなに暑い日も、ほとんど毎日「けいどろろがしたい！」と言っています。

この遊びの面白い所は、警察に捕まった泥棒が仲間同士で助け合ったり、牢屋から出て、再び逃げられるという所です。警察は捕まえても捕まえても泥棒から逃げられ、泥棒は逃げてても逃げてても警察から捕まってしまう。子ども達は、どのようにして捕まえようか逃げようかと、遊びを繰り返す中でそれぞれが考えるようになり、工夫しようとしています。

最近、警察が牢屋に見張り役を付けたり、挟みうちで捕まえるようにするようになりました。また泥棒は、警察の隙をついて仲間を助けたり、捕まりにくい場所を見つけ警察を手こずらせています。両者共にレベルアップし、子ども達の中ではさらに面白さが増しているようです。このみんなが大好きな「けいどろろ」を通して仲間意識が強くなるこの時期に、これからますますクラスの仲を深めていってほしいと思います。

来月は花の子どもの日で老人ホームへの訪問があり、歌やハンドベルの発表を控えています。入所者の方に喜んでいただけるよう、みんなで頑張りますのでみなさんも応援よろしくお願ひします！

# 「新入生を迎えて高等学校は今」

高等学校長

川村 正徳

## 入学式

4月8日、新入生(70回生)260名を迎え、暖かい雰囲気の中で入学式を執り行いました。学校長が式辞で、「失敗して跳ね返されても高校生活では何度でも挑戦することが許されます。勉強やクラブ活動等においても、決して自分の夢を捨てたり、諦めることなく挑戦し続けてほしい。」と新入生に激励の言葉を述べました。

2015年度の目標聖句「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」ということを知る」が林田秀彦学院長より示され、全校生総数880名で新年度がスタートしました。そして、対面式、歓迎遠足、1年生宿泊訓練と年度初めの行事が行われました。新入生も学校生活にも徐々に慣れ鎮西生らしくなってきました。あちらこちらから元気の良い挨拶が聞かれ、活気あふれる教育環境の中で生徒たちは勉学にいそしむとともに、クラブ活動に汗を流すなど充実した学校生活を送っております。

## 吹奏楽部定期演奏会

毎年GW時に実施している定期演奏会も今年で28回を数えることとなりました。今年5月3日に諫早文化会館、5月4日に長崎市民会館文化ホールと二日間にわたり実施致しました。質の高い演奏を披露し、二会場合わせて約1300名の会衆を魅了しました。本校コーラス部も友情出演し、演奏会に華やかさを添えてくれました。長崎市での特別演奏会は今回で5回目を数えますが、被爆70周年を迎えるこの年に本学院発祥の地である長崎市で特別演奏会を開催することは大変意義深いことと思っております。

本校吹奏楽部は、1962年(昭和37年)に創部された、今年創部53周年を迎える県内でも古い歴史を持つクラブであります。昨年度は九州吹奏楽コンクール、九州マーチングコンテストの両部門で、九州大会出場を果たしております。また、12年連続の長崎県文化活動推進校の指定を受けております。

## 物故職員記念礼拝

5月16日、物故職員記念礼拝を行いました。本学院では、毎年この時期に物故職員記念礼拝を行い、鎮西学院歴代院長の精神を受け継ぎ、神を讃える礼拝を行い、建学の精神を確認する機会としております。今年にはC・S・ロング院長、笹森卯二郎院長、川崎 升院長、千葉 胤雄院長の遺影をかけた、本学院のOBで学院理事の山口哲生先生(元活水女子大学日本文学教授)を奨励者としてお招きして、人生の指針を示してくれるチャペルのすばらしさについてお話をいただきました。放課後は生徒と教職員が長崎(国際墓地、笹森家、川崎家、秋永家)、諫早(鮫島家、校内納骨堂)、大村(田川家、千葉家)の墓所を訪れ、墓参いいたしました。

## 進路実績

この3月卒業した卒業生の進路決定状況は、九州大学、横浜国立大学、広島大学(2)、熊本大学(2)、長崎大学(7)、佐賀大学、長崎県立大学(7)、明治学院大学、関西学院大学、西南学院大





学(11)、福岡大学(7)、長崎ウエスレヤン大学(20)等国公立大学合格者49名、私立大学合格者166名と過去最高の成績でした。就職関係では大村市役所、長崎県警、自衛官等過去最高の44名の公務員合格や、就職内定率4年連続の100%を12月上旬に達成することができました。

**菖蒲忌でインターアクトクラブ生活躍**

諫早ゆかりの芥川賞作家野呂邦暢さんをとたえる「菖蒲忌」が5月31日、グラウンドパレス諫早で行われ、本校インターアクトクラブ生が野呂作品を朗読しました。「菖蒲忌」は諫早市芸術文化連盟が毎年開き、今回は35回目となるが、本校インターアクトクラブは30年前のクラブ創設以来毎年この式典補助に携わってきました。その爽やかな活動は、諫早の文化連盟のみならず、東京から式典に出席された出版社、文芸評論家、小説家の方々からもこれまで高い評価を受けております。

**九州なでしこサッカー大会初優勝**

5月9日～10日、沖縄県総合運動公園ラグビーサッカー場で行われた「第27回九州なでしこ大会」で、初優勝を飾りました。決勝では、強豪校・神村学園に0対

0でPK戦になり5対3で、みごと勝利、念願の初優勝を飾りました。今大会では全試合無失点の完璧な試合運びで勝利を勝ち取ることができました。また、本校サッカー部女子は6月6日から行われた県高校総体で優勝を果たすことができました。8月、兵庫県で行われる全国大会出場を賭けて、九州大会で上位2位チーム入りを目指します。

**NHK学園高等学校協力校**

NHK学園高等学校 鎮西学院協力校の第6回卒業証書授与式が3月21日執り行われ、22名の卒業生が未来に向かってそれぞれの新たな道を歩み始めました。

本協力校が開校して9年目となるこの4月には新入生を迎えて4月15日に入学式を執り行いました。協力校校長が「通信制課程で学ぶ一つの特徴は、さまざまな経歴を持つている方や幅広い年齢層の方々と一緒に学ぶことができることです。自分で学習をすすめるなければならないという困難はありますが、お互い励まし合い、志を高く掲げ努力することを期待します。」と激励の言葉を述べました。新年度は1年生17名を加え、全校67名でスタートしました。



## 女子サッカー部

**団体 優勝** 5年連続5回目

準決勝 鎮西 6-0 佐実  
 決勝 鎮西 1-0 海星  
 初優勝九州大会（全国大会出場）  
 決勝 鎮西 2-0 東海第五  
 全国大会：8/5～8/9  
 ユニバー記念競技場（兵庫県神戸市）  
 ※九州なでしこサッカー大会（5/9～5/10）  
 団体 優勝（初優勝）  
 準決勝 鎮西 4-0 大分トリニータ  
 決勝 鎮西 0-0 神村学園  
 PK 5-3



## 体操部

**男子団体 準優勝**

**女子団体 3位**

[男子個人]  
 5位 1A 山口京太郎  
 9位 1C 嶋田 竜成  
 11位 1D 寺田 優太  
 [女子個人]  
 5位 3D 平野 花奈  
 6位 3D 立花 希望  
 全国・九州大会出場  
 1A山口, 3D平野  
 九州大会出場  
 1C嶋田, 1D寺田, 3D立花  
 全国大会：7/31～8/4  
 大阪市中央体育館（大阪府）



## 空手道

**団体 組手 3位**

## 男子卓球部

**団体 準優勝**

九州大会出場  
 ダブルス  
 優勝 3A吉野・2A田口  
 3位 3D一ノ瀬・3F下大迫  
 シングルス  
 3位 3A 吉野 彪功  
 5位 1D 針尾 恭輔  
 全国・九州大会出場  
 3A吉野, 2A田口  
 九州大会出場  
 3D一ノ瀬, 3F下大迫, 1D針尾  
 全国大会：8/9～8/14  
 滋賀県立体育館（滋賀県）

## 女子卓球部

**団体 準優勝**

九州大会出場  
 ダブルス  
 2位 2C平松・1C李  
 3位 2EII富田・2D安田  
 シングルス  
 優勝 1C 李 楠  
 3位 2EII富田 弥佑  
 全国・九州大会出場  
 1C李, 2EII富田  
 九州大会出場  
 2C平松, 2D安田  
 全国大会：8/9～8/14  
 滋賀県立体育館（滋賀県）

## 柔道部

[男子個人]  
 90kg級 3位 2B 高比良亮太  
 [女子個人]  
 57kg級 3位 3D 山本 美月  
 70kg級 3位 3D 庄崎 沙耶  
 2K 下釜さゆり  
 70kg超級 3位 1F 岩崎 唯

# 2015年度 高校総体 各部活動戦績

## サッカー部女子優勝!!

## 準優勝は体操部男子、

## 卓球部男子、卓球部女子、

## ボクシング同好会!!

これまでの  
 努力の結果が  
 形になりました!!  
 おめでとう!!

## ボクシング同好会

**団体 準優勝**

[個人]  
 ビン級 2位 2A 山口 雄大  
 ライト級 優勝 3J 大坪 知生  
 ウェルター級 2位 3EII 横尾 賢  
 バンタム級 3位 3D 岩岡 大  
 3位 2EI 奥村想一郎  
 ライト級 3位 2B 伯野 海人  
 全国・九州大会出場  
 3J大坪  
 九州大会出場  
 3EII横尾, 2A山口  
 全国大会：7/29～8/3  
 兵庫県立総合体育館（兵庫県）



## 陸上部

3000m障害 第3位 3D 小島 竜太  
 5000m 第3位 3EII 小島隆太郎  
 ※上記の2名は、北九州大会出場



# 2015年度 進路合格状況

進学主任 齋藤 州澄

## 国公立大学合格者数



## 2015年度 鎮西学院高校 進路実績



### 国公立大学 **49名**

九州大学 1名	長崎大学 7名	宮崎大学 2名
横浜国立大学 1名	佐賀大学 3名	琉球大学 2名
広島大学 2名	山口大学 1名	長崎県立大学 7名
熊本大学 2名	大分大学 1名	北九州市立大学 2名

### 私立大学 **166名**

関西学院大学 1名	西南学院大学 11名	長崎ウエスレイン大学 20名
明治学院大学 1名	福岡大学 7名	など

### 公務員 **14名 (最終合格)**

大村市役所 1名	対馬市消防 1名	佐賀県警 2名
海上保安学校 1名	警視庁 1名	大阪府警 2名
県央消防 1名	長崎県警 3名	神奈川県警 2名

### 自衛官 **30名 (最終合格)**

一般曹候補生 9名	自衛官候補生 21名
-----------	------------

## 進学

### 九大・横浜国大に現役合格!

1975年に国公立大学進学コース(E組)が設置されてからちょうど40年となる節目の年に、国公立大学合格者が過去最高の49名を輩出することが出来ました。設立当初の10年間は、国公立大学合格者が1桁という苦しい時代もありましたが、現在では指導のノウハウが蓄積され、チームで指導する体制が確立してきました。そのため、この10年はコンスタントに20名以上の合格者を出すことが出来ています。その中でも、今回49名の合格を出せたことは、鎮西学院進学部にとっても大きな自信となりました。生徒の努力、担任のクラス経営、教科担当の熱心な指導、進学部チームでの指導、保護者の本校教育方針に対するご理解とご協力など、これら多くの要因が全て揃わないと成しえることは出来なかったと思います。

今後も更なる飛躍を目指して頑張っていきたいと思います。

今後も、「ひとりひとりに丁寧な指導を!」を心がけ、生徒の進路希望実現に向けて努力していきたいと思います。



国公立大学に合格した卒業生たち

## 公務員・自衛官

### 過去最高の44名が合格!

公務員講座を始めてから9年。年々指導体制が整備され過去最高の結果を出すことが出来ました。大半の生徒は部活生であり、部活動を終えて19:00~20:30の講座を受講し、合格の栄冠を勝ち取りました。



公務員に合格した卒業生たち

## 一般就職

### 4年連続就職率100%

全国的な求人状況は上向いているものの、県内の有効求人倍率は1.05と全国最下位の長崎ですが、その中で就職希望者52名全員が12月末までに就職先が決まったことは快挙と言えます。

# 「長崎ウエスレヤン大学は、今」

4月1日に入学式を終えた留学生を含む新入生たちも落ち着き、若葉のなかに涼しげに通りぬけていく風を感じる余裕ができています。特に、4月から新しいカリキュラム体系のもとに授業が進んでいますが、それも順調に進行しています。先日(5月16日)におこなわれた恒例(第12回)の国際交流イベントである「メイフェスタ」は、天候の影響でカフェテリアでの開催となりましたが、日本人学生や留学生、教職員だけでなく学外からも多く参加して頂き、大いに盛り上がるものとなりました。

さて、2014年になってからの大学の状況も踏まえ、ご報告いたします。まず、教育の成果として特記すべきことは、2014年度国家試験である社会福祉士(合格者数8名 合格率53.3%(全国27.0%))と精神保健福祉士(合格者数9名 合格率100.0%(61.3%))の現役合格率が、昨年度に続き県内でトップになったことです。また、ダブル受験した学生の合格率は、71.4%でした。この結果は、学生たちの努力の賜物といえますが、陰で支えてくれた教員とOBは忘れることのできない存在です。また、就職希望する学生たちの内定率は93.1%と、学生はもとより陰で支えた教職員の努力が報われました。

最近、姉妹大学との連携から、交換留学に行く学生も増え始めていますし、本学に交換留学で来る学生も増えてきています。そうした状況から、国際インターシップのコンソーシアムを立ち上げることになりました。日本・中国・韓国・台湾の10大学で実施することになっています。

また、文部科学省 平成26年度私立大学改革総合支援事業では、タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」(選定率44%)に選ばれ、タイプ2「特色發揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」(選定率31%)でも採択されました。結果、国庫補助金が増額となり、教育環境の整備に還元しています。

「活動する学生」においては、長崎ががんばらば国体やがんばらば大会でのボランティア活動やまちづくり活動に対して諫早市より表彰され、ようやく認知されてきた感があります。これまで連携をしてきた団体との協定も、長崎県中小企業家同友会諫早支部、雲仙温泉観光協会、雲仙旅館・ホテル組合、長崎県市町村行政振興協議会、諫早市・長崎総合科学大学と締結し、地域との連携を強化してきています。特に、中小企業家同友会諫早支部様とは、学生に対する講演、グループセッションによる就職活動へのアドバイス、さらには経営者が求める人材

について教員と一緒にワークショップをしたり、保護者懇談会での講演など多くの支援を頂いています。

ところで、4月25日にネパールで大地震がおき、本学で日本語を勉強している留学生のなかにも家族が被災した学生がいます。TVニュースで全国放送されたこともあり、大きな反響がありました。ネパールで被災された方々へ、本学の留学生にと義捐金を頂きました。5月末にとりまとめし、6月3日のピースアワーで追悼礼拝をおこなうなかで本学留学生に対する義捐金を渡しました。この場をお借りして、皆様の温かい支援に感謝申し上げます。

今後とも、地域から信頼される、地域になくはない大学づくりに邁進いたしますので、どうぞ、これからもご支援頂きますよう、お願い申し上げます。







## メイフェスタを終えて

長崎ウエスレヤン大学現代社会学部外国語学科4年

森 泰亮

今回で第12回を迎えたメイフェスタ！今年5月16日に開催しました。残念ながら雨のため、室内が会場となりました。天気が悪い中、地域の方々や他大学の学生など多くの方にご来場頂き感謝申し上げます。

さて、メイフェスタというイベントを皆さんはご存知でしょうか？メイフェスタは、毎年チャリティ活動の二環として開催されています。売上金はタイ、カンボジアそしてフィリピンの子どもの就学支援金として寄付してまいりました。しかし、今年4月にネパールで起きた大地震の被害を受けた人々の義援金として寄付することとなりました。

長崎ウエスレヤン大学では、48名のネパール人留学生が学びをともししています。今回の大地震で家族を亡くした学生や家が倒壊した学生、家族と連絡が取れなくなった学生も多くいました。そのような状況にある中でも、ネパール人学生たちは懸命に勉学に励んでいました。その姿を見て、私たちにできることは何かを深く考えるようになりました。多くの亡くなられた皆様に哀悼の意を捧げるとともに、ネパール復興の念を込めてメイフェスタに取り組みました。私たち長崎ウエスレヤン大学は、諫早という小さな街からネパールへ元気を届けることができたのではないかと思います。



また、メイフェスタのサブタイトルである「Share a joy 世界と出会おう、ハートでつながろう」という言葉があります。この言葉は、「楽しみをみんなに分かち合おうよ」という思いが込められています。長崎ウエスレヤン大学では、7カ国以上の国から多くの留学生を受け入れていきます。日頃生活を送っていく中で外国人の方と会う機会はあると思いますが、その国の文化に直接触れ合う機会はありません。メイフェスタは多くの国の留学生をはじめ、文化や料理、音楽、そしてダンスなどを通して直接触れ合うことができるイベントです。地域の国際交流の拠点として、世界と出会う窓として、メイフェスタは開催されています。さらに、「ハートでつながろう」というのは、言葉の

壁を超えて共に笑い、踊り、同じ時間を過ごすことで「心」と「心」でつながろうという思いが込められています。

私は学生生活やメイフェスタを通して、多くの国の様々な文化に触れる機会に恵まれてきました。長崎ウエスレヤン大学は、異文化や留学生に出会わせてくれた私にとって掛け替えのないところとなりました。また、準備から実施までのメイフェスタを通じた4年間の活動は貴重な体験だったことは言うまでもありません。長崎ウエスレヤン大学のメイフェスタは、これからもずっと皆様の国際交流の場として開催されます。みんなが集い、共に笑える場として。



ネパール地震被災者支援について



ネパール連邦民主共和国とこのたびの大地震で被災されたすべての国民の皆様へ心よりのお悔やみを申し上げます。

本学では地震直後の4月28日より学内に募金箱を設置し義捐金募金活動を行い、多くの団体、個人の方々よりご支援いただきました。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。本学にはネパール国籍の留学生が48名在籍しており家族が被災した学生もおります。義捐金をお寄せいただいた中には、本学生への寄付をお申し出になった方も多くいらっしゃいますので、お申し出のとおり本学にお渡しすることといたしました。

6月3日にはネパール地震追悼祈念礼拝が行われました。これは一日も早い復興への祈りと、温かいご支援への感謝を込めて本学が開催したものです。佐藤学長から5月末日までに総額100万円以上の義捐金が集まったことが報告された後、地元諫早市の創成館高等学校と鎮西学院高等学校の生徒が、義捐金を直接ネパール人留学生に渡しました。両校とも生徒が積極的に募金活動を行ったものです。併せて両高校生からは英語で追悼と励ましのメッセージも贈られ、本学の留学生は日本語で感謝の言葉が返されました。その他の義捐金については「日本キリスト教団兵庫教区被災者支援・長田センター」を通じてネパールに送られ、現地の支援に役立ててもらいます。

長崎ウエスレヤン大学関係者一同、このように多くの方々からのあたたかい支援をつなぐことができましたことに感謝いたします。心よりお礼申し上げます。

**ネパールサポーター**

あなたからのご支援は日本キリスト教団を通じて、ネパール大地震で被害にあわれた方への医療支援として大切にに使させていただきます。  
長崎ウエスレヤン大学

धन्यवाद

ネパール語「ありがとう」

## 卒業生の進路状況

2014年度(2015年3月卒) 卒業生の進路決定状況

●進学者10人(大学院・専門学校など) ●その他9人(帰国など) ●就職希望者59人 ●就職者54人

**就職決定率 91.5%**

就職先 県内49人 県外5人  
一般企業(公務・教職含む)38人  
医療福祉16人

**過去3年間の就職決定率**

2011年度 **80.6%** 2012年度 **87.5%** 2013年度 **83.0%**

**進学・留学先** 名古屋大学大学院、広島大学大学院、熊本大学大学院、長崎大学大学院、長崎総合科学大学大学院、公務員ゼミナール、留学(タイ、College of Asian Scholars) など

**就職先** JA長崎県央、JA長崎せいひ、日本生命、長崎中央総合会計事務所、JR九州、ANAテレマート、ホテルニュー長崎、雲仙旅館福田屋、新湯ホテル、富貴屋、ホテルマリンワールド、ソフトバンクBB、ラッキーネットワークサービス、オンワード樺山、ユニクロ、西九州トヨタ、長崎トヨペット、日産プリンス長崎販売、スズキ自販長崎、タナチョー、ダイキエンジニアリング、ひぐちホールディングス、三恵、ダイレックス、みかど本舗、みそ半、雲仙有機、長崎新聞印刷センター、敷内薬品、国立病院機構長崎病院、南野病院、恵美須橋病院、横尾病院、あきやま病院、紅葉病院、姉川病院、乙金病院、土佐山田会、メディカルボディデザイン、昭徳会、普賢学園、諫早手をつなぐ育成会、厚生ライフ長崎、リエンズ長崎、みさかえの園第二めぐみの家、創成館高等学校、長崎女子高等学校 など

社会人になって早くも2か月が経過。私は現在、大学4年間ずっと憧れていた医療ソーシャルワーカー(以下MSW)として働いています。大学4年間の学びでは、病院見学や実習など現場で働くMSWの方々に関わる機会が多くありました。ここでは仕事を学ぶだけでなく、出会った方々と顔の見える関係を築くことが出来ました。MSWは病院内外を問わず、あらゆる機関、あらゆる職種の方々と協働しながら患者様やご家族をサポートする専門職です。まさに大学時代に築いてきた人と人との繋がりが活かせる仕事です。まだまだ仕事に覚えることに必死ですが、MSWの立場から社会に貢献したいです。



**堤 彩香**  
鎮西学院高等学校出身  
社会福祉学科卒業  
医療法人仁寿会 南野病院

長崎ウエスレヤン大学で過ごした4年間は、チャレンジの連続でした。学生会や大学祭実行委員会の活動、サークルの新設と運営、経済政策学科新入生歓迎合宿の企画運営、教職課程の履修など、大学入学前まではなかつた経験をする機会がたくさんありました。それらの経験は就職活動においても非常に役に立ちました。すなわち、自分にはどんな仕事に向いているのだろうか、ということを経験を振り返って考えることができたのではないかと思います。現在は、営業職の研修を受けております。「営業はお客様に幸せを運ぶ配達人」であるということを忘れずに、精進していきたいです。



**里 拓也**  
鎮西学院高等学校出身  
経済政策学科卒業  
株式会社ディーエスブランド

2015年3月卒  
**卒業生トピックス**



## 学院総宗教主事に就任して

この度、学院総宗教主事を拝命いたしました鐵口宗久と申します。23年間、高等学校の宗教主事としてお世話になってまいりましたが、この4月より、あわせて学院総宗教主事の任をも仰せつかることになりました。かねてより、学院全体を統括する総宗教主事の必要性を感じておりましたが、いざその大役を自分が任されることになり、その重責に押しつぶされそうになっております。必要性を感じていながらも、何のビジョンも持たずに拝命いたしましたので、毎日、試行錯誤の日々を送っております。これまで通り、高等学校の宗教主事としての働きを与えられ、それに加えて幼稚園・大学との関わりが増えたものの、これといった変化はありません。これで務まるのかと、反省しきりであります。ただ、このわずか3ヶ月の間ではありますが、大きな恵みを与えられております。それは「出会い」であります。これまでとは違い、大学生や大学の教職員の皆様・幼稚園児や幼稚園のスタッフ、それに幼稚園の保護者との皆様方とのより深い交わりの時、出会いの時を与えられてまいりました。この「出会い」とは、私達人間の歩みを大きく左右します。人はいわば「出会い」によって成長し、「出会い」によって生きるものです。教育現場とはその「出会い」の場を創造する所であり、私達教職員にはその大切な「出会い」を若き魂に提供する職務があるのです。そして聖書の中にも数多くの「出会い」があり、その「出会い」に導かれて生きる方向を定められた人々が沢山見受けられるのです。

「出会い」は人生を決定付けます。このような良き「出会い」を与えられたことに感謝しつつ、その恵みを与えて下さった神の存在を知る。そして神との「出会い」を提供する働きをしていきたいと願っております。ともすれば、それが学院総宗教主事の最も大切な働きではないかとも思っております。

微力な私であります。どうかこの神から与えられた働きや、皆様の愛する鎮西学院のことを覚えて頂き、祈りの中に加えて頂ければと願っております。

# 被爆70周年 鎮西学院平和祈念式典・平和大行進のご案内

鎮西学院では、毎年学院行事として平和祈念礼拝を捧げ、献水・献花式を執り行っています。  
被爆70周年となります今年も平和大行進も予定しております。  
鎮西学院の平和祈念行事を下記日程で開催いたしますのでどなた様もご出席頂きたく、  
ここにご案内申し上げます。

記

8月8日(土)平和大行進【活水高校→鎮西学院】

活水高校(長崎市宝栄町)9:00出発式 9:30出発

13区間をリレー形式で鎮西学院まで行進します。

また諫早市役所広場で15:00に出発式を行い、別途鎮西学院に向かいます。

8月9日(日) 午前9時20分 平和祈念礼拝(鎮西学院講堂)

午前10時30分 献水・献花式(慰霊碑・平和祈念碑前)

学校法人鎮西学院 理事長 栗林 英雄  
院長 森 泰一郎

学校法人鎮西学院聖書塾へのお誘い

## 「今に生きるキリスト教」

鎮西学院では、市民の方々やキリスト教徒各派の方々に聖書塾を開催し、キリスト教の現代的な理解を深めることを目的としています。

やさしいキリスト教の解説から始まり、フェミニズムの立場に立った新しい聖書の読み方、バルト神学の新しい理解、カネミ油症問題の取り組み、キリスト教式葬儀の紹介、性的マイノリティの方々との連携などの幅広いテーマを日本の第一線で活躍する研究者や牧師たちが熱く語ります。  
宗教や信条にかかわらずご参加ください!心よりお待ちしております。



### 場 所 鎮西学院ピースチャペル

諫早市西栄田町1212-1

(駐車場は、長崎ウエスレヤン大学駐車場をご利用ください)

開校日 2015年7月～2016年3月

第1回目は、7月17日(金) 毎月第3金曜日(但し、8月・12月は休講)

時 間 18時30分～20時00分



### 開催予定と講師陣

- 7月17日(金):「60分で分かるキリスト教」  
鎮西学院総宗教主事 鐵口宗久牧師
- 9月18日(金):「現代社会とキリスト教～カネミ油症被害を考える」  
長崎ウエスレヤン大学宗教主事 山城順牧師&下田順子
- 10月16日(金):「新しい聖書の読み方～フェミニズム神学の立場から」  
日本フェミニスト神学・宣教センター・共同ディレクター  
山口里子牧師(米国・神学博士)
- 11月20日(金):「キリスト教葬儀の勧め」  
日本基督教団・諫早教会 長谷川渉牧師
- 1月15日(金):「今日に語りかけるバルト神学」  
福岡女学院院長・九大名誉教授・西南学院前理事長・院長  
寺園喜基牧師(ボン大学・哲学博士)
- 2月19日(金):「時代の中のキリスト教文化」  
日本基督教団・大村教会 小片聡牧師
- 3月18日(金):「調整中」  
日本基督教団・新宿コミュニティ教会 中村吉基牧師

連絡先/学校法人鎮西学院総務課 TEL.0957-26-8200



あの日  
僕らの夢が消えた

## 鎮西学院 創立135周年記念

長崎原爆被爆70周年

# 写真展

入場  
無料

2015年(平成27年)

11月26日〔木〕→30日〔月〕

開会セレモニー (26日 午前10時30分～)

諫早市美術・歴史館

〈1階ホール〉 〒854-0014 諫早市東小路町2-33  
TEL.0957-24-6611

■開館時間 | 午前10時～午後5時(最終日 午後1時まで)

主催 / 学校法人 鎮西学院

○長崎ウエスレヤン大学 ○鎮西学院高等学校 ○鎮西学院幼稚園

後援 / 諫早市 諫早北ロータリークラブ 鎮西学院校友会

連絡先 / 鎮西学院広報戦略室 TEL.0957-26-8200

## 学院人事異動

森泰一郎 前副院長

院長に就任

林田秀彦 前院長

名誉院長に就任

鐵口宗久 高校宗教主任

学院総宗教主事に就任

齋藤 寛 氏

理事に就任

### 学校法人鎮西学院の理事・監事

2015年7月1日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	栗林 英雄	理事	林田 秀彦
院長	森 泰一郎	理事	杉原 宏一
理事	佐藤 快信	理事	山口 哲生
理事	川村 正徳	理事	森 俊介
理事	西村 暢彦	理事	黒田 隆雄
理事	加藤 育男	理事	齋藤 寛
理事	西 嗣也		
理事	山城 順	監事	井手 雅康
理事	鐵口 宗久	監事	渡瀬 寛

### 2014年度 退職者

3月31日辞令交付式

氏名	所属	氏名	所属
林田 秀彦	学院本部	早稲田信衛	高校・教員
俞 稔生	大学・教員	垣原 秀和	高校・職員
占部 尊士	大学・教員	北風士志夫	高校・職員
崎村 俊策	大学・教員	柳 美里	幼稚園・教員

### 2015年度 新規採用者

4月1日辞令交付式

氏名	所属	氏名	所属
宮地あゆみ	大学・教員	馬場 庸介	高校・教員
吉野 浩司	大学・教員	宮川 佳子	高校・教員
岩永 耕	大学・教員	内野 夏実	高校・教員
深水 悦子	大学・職員	中川 信彦	高校・職員
光武佐和子	大学・職員		

### 2015年度 昇格者

4月1日辞令交付式

氏名	所属	新役職	氏名	所属	新役職
森 泰一郎	学院本部	院長	曾場尾由香里	大学・職員	主任
鐵口 宗久	本部・高校	総宗教主事	永石 美穂	大学・職員	主任
入江 詩子	大学・教員	教授	中尾 剛	大学・職員	主任
南川 恵	大学・教員	准教授	大木 洋典	高校・職員	主任
錢坪 玲子	大学・教員	准教授	田中 忠英	高校・職員	主任
宮田 龍介	大学・職員	主任			

# オープンキャンパスのご案内 OPEN CAMPUS INFORMATION

鎮西生が考えた  
楽しいオープンキャンパス!  
新しい鎮西を体感しませんか。

**OPEN CAMPUS 2015**

新しい鎮西を体感しませんか。

7/20(祝)  
8/4(水)  
10/31(土)

鎮西学院高等学校  
http://www.chinzeigakuin.ed.jp

自信につながる。  
自身が拓ける。  
GET CONFIDENCE!

**オープンキャンパス2015**

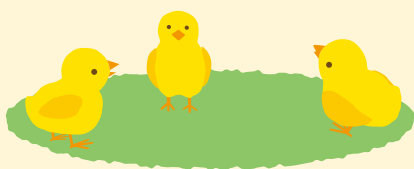
7/20(月・祝) 13:00~15:00  
8/12(水) 13:00~14:50 / 15:00~

松木 安太郎氏 講演会開催!

長崎ウエスレヤン大学  
〒854-8502 長崎県長崎市西長崎町1324-4 TEL: 0957-28-4234  
FAX: 0120-131-057 | 0120-362-063  
http://www.wesleyan.ac.jp E-mail: info@wesleyan.ac.jp

## 鎮西学院幼稚園 2016年度 園児募集

- 5歳児 ●4歳児 ●3歳児
- ※年度途中満3歳に達したお子様の入園有
- ・入園願書配布 10月20日(火)より
- ・入園願書受付 11月4日(水)より



入園説明会 **10月17日(土) 10時**

- 未就園児親子あそび
- ◎おひさまくらぶ (2歳以上児対象・月2回)
  - ◎おひさま&グリーンクラブ (1歳以上児対象・月1回)

水曜日  
実施

環境と人その未来を創造する

# 粕谷製網株式会社

会長 粕谷 勝  
(新高10回)

社長 粕谷 正昭  
(新高17回)

常務 粕谷 英雄  
(新高44回)

〒854-0037

長崎県諫早市川内町 485 番地

TEL +81-957-22-0373

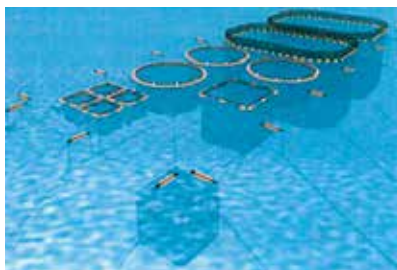
FAX +81-957-23-5505

<http://www.kasutani.com>

E-mail [info@kasutani.com](mailto:info@kasutani.com)



## 漁業・海洋部門



係留施設



養殖生簀



30年以上の実績を持つ生簀網

## 陸上部門



ストーンガード



防球ネット



F-REN マット



会社全景

## 「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「むくげ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌Ⅱ192番 「Jesus, rose of Sharon」 Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H. Gabriel 1922

学校法人

**鎮西学院** TEL 0957-26-8200 URL <http://www.chinzei-gakuin.jp/>

**鎮西学院幼稚園**

TEL 0957-25-1231  
FAX 0957-25-1257  
URL <http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp>

**鎮西学院高等学校**

TEL 0957-25-1234  
FAX 0957-25-1237  
URL <http://chinzeigakuin.ed.jp/>

**長崎ウエスレヤン大学**

TEL 0957-26-1234  
FAX 0957-26-2063  
URL <http://www.wesleyan.ac.jp>

鎮西学院だより「シャロン」  
2015. Vol.1

発行日／2015年7月15日

編集・発行／鎮西学院広報戦略室

発行人／森 泰一郎(学院長)

編集長／上田 常雄(広報戦略室長)